

# かほく市議会 議会運営委員会 視察報告

## 【研修日程】

平成30年10月29日（月）～30日（火）

## 【視察研修先及び内容】

1. 神奈川県横須賀市：議会改革について
2. 神奈川県茅ヶ崎市：議会改革について

## 【参加者】

議会運営委員会	委員長	杉本	成一
	副委員長	猪村	博靖
	委員	竹内	幹雄
		安達	肇
		丸井	一範
	随行	森	益啓
		山村	佳子

---

## 議会改革について

### (神奈川県<sup>よこすか</sup>横須賀市)

横須賀市は、神奈川県南東部に位置する三浦半島の大部分を占め、市域の東側は東京湾、西側は相模湾に面しており、面積は約100平方キロメートル、人口は40万人の都市であります。

市内には、米軍基地、自衛隊基地があり、戦後ベッドタウンとして人口が増えておりましたが、平成初めの43万人台をピークに人口が減少しており、現在、高齢化とともに課題となっているとのことであります。

横須賀市議会の議会改革の取り組みについてであります。主にかほく市議会が取り組んでいない項目について視察を行ってきました。

まず「議会制度検討会議」についてであります。

前身は、平成13年に設置された「議会制度検討会」であり、課題が生じた場合のみでの検討会でありましたが、平成23年より、「継続的に議会改革に取り組むための常設の検討会議」として、議長の諮問機関に位置づけられ、委員は10人で構成、任期は議員の任期とのことでした。

主な成果として、議員政策条例制定のルール策定、政務活動費領収書の写しのホームページ公開、通年議会の導入などとのことでありました。

次に「大学との包括的パートナーシップ協定について」であります。

市内にある「関東学院大学」と協定を締結したもので、議会側は「学」の知見(ちけん)の活用、議会の政策提案能力を向上させるため。また、大学側は平成29年に地域創生学科を創設し、人材育成に活かす目的があったようであります。

議会側の導入の効果として、大学の持つ人的、物的な知的資源を活用することで、より質の高い政策提案が可能となったとのことでありました。

本市においても県立看護大学があることから、今後このような協定締結を検討していく必要があると感じました。

次に「議会ガイドブック「よこすか市議会なるほどガイド 議会でゲンキ！」」であります。

このガイドブックは、議員の発案により、他では、行っていない事に取り組もうということから、平成14年度より中学生が理解できるように「議会のしくみ」や運営等を記載した冊子であります。

社会科授業で活用し、議員の改選ごとに改訂版を発行しており、大変好評であるとのことでありました。

その他、「通年議会導入」、「ペーパーレス会議」、「高校生を対象とした議会報告会」についても説明を受けてきました。



---

## 議会改革について

### (神奈川県茅ヶ崎市)

茅ヶ崎市は、相模川下流域に位置し、面積は約36平方キロメートル、人口は約24万人であり、東京、横浜のベッドタウンとしても人気があり、人口は一貫して増え続けているとのことでした。

また、観光都市としての側面も持っており湘南海岸では、夏には多くの海水浴客が訪れております。

茅ヶ崎市議会では、当市議会でも取り組んでいる「議会基本条例の検証」と「事業評価」について、を主として視察を行ってきました。

「議会基本条例の検証」についてであります。平成23年に議会基本条例を制定し、26年度に検証し、「請願者・陳情者の趣旨説明の機会の新設」、「会議の公開の規定の改正」、「広聴の充実の規定の新設」、「議会の義務等に関する規定の改正」などを行ったとのことあります。

26年の6月から検討に入り、約9か月かけ、検証シートを作成、各条項を一項目ずつ検証し、「取り組み状況」を整理しながら、条文の運用、条文の改正の可否を決めたとのことあります。

その間に、改正案をパブリックコメントし、市民の意見を求め、改正した内容を記者発表し、広く周知したとのことありました。

パブリックコメントについては、当市議会に無い取り組みであり、採用について、今後検討していきたいと思われました。

次に「議会による事業評価」についてであります。

決算審査結果を翌年度の予算編成に反映するなど、その充実のため「事業評価」の導入について、平成21年度の決算審査から正式に決算特別委員会を設け、「事業評価」を導入しております。

決算特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く全議員で構成され、その中に常任委員会を活用した4分科会を設け、6月定例会で各3事業程度を評価対象事業に選定しているとのことあります。

その後、9月定例会の決算審査では、担当課が作成した評価シートによる行政側の自己評価を踏まえ、各分科会でその事業の方向性を「拡充」や「休廃止」の4段階で評価を行ったうえで、その評価は、最終的に決算特別委員会で決定し、本会議に報告するとのことであります。

「事業評価」の導入によって、従前よりも議員間の活発な議論と意見交換が図られ、議会としての存在意義を示すことができた。とのことであります。

当市議会の場合は、前年度に「改善」との評価を受けたものは、事業評価対象事業により、チェックをしていますが、茅ヶ崎市議会の場合は、各委員会の采配により、対象事業を選定しているとのことであります。

また、茅ヶ崎市議会の場合は、評価結果を市長に通知し、翌年度の予算編成等への反映状況報告を議長に対し行っているとのことであります。



---

## (まとめ)

議会の活性化や改革、市民に開かれた議会を目指し先進的な議会運営を行っている横須賀市、茅ヶ崎市議会への視察研修は、かほく市議会においても取り組むべき課題が多くあり、多いに参考となった研修でありました。